

赤かぶ大学 2025

未来へつなごう あつみの

伝統芸能

第4回開催レポート

10/19
(日)

「木野俣獅子踊」の歴史



江戸時代初期から踊られていたものと思われる木野俣獅子踊。先祖供養や五穀豊穡をもたらす大切な踊りとして今もなお守り受け継がれ、毎年五月五日の祭典で奉納されています。

今回の「赤かぶ大学」では、多くの住民、出身の方々が出迎えてくださり、獅子踊の歴史についてお聞きし、また獅子頭や楽器に触れるなど、貴重な体験をすることが出来ました。来年のお祭りではぜひ現地で拝見したいと思いました。

この素晴らしい伝統芸能が、これから先も続いていくことを願っています。木野俣の皆さんありがとうございました！